

特集 フロンこの1年

第一種フロン類充填回収業者からの報告の集計結果や、全国のフロン類再生量及び破壊量の集計結果、南極のオゾンホールなど、フロンに関係するデータをまとめてお知らせします。

1 フロン類充填・回収量、再生量及び破壊量

(1) 充填量及び回収量（全国及び兵庫県）

第一種フロン類充填回収業者から報告された平成28年度のフロン類の充填量及び回収量は表のとおりです。

表 フロン類充填量及び回収量

充填量(トン)	CFC	充填量	H27との差	HCFC	充填量	H27との差	HFC	充填量	H27との差
設置時	全国	15	3.2	全国	147	-30	全国	1,545	-233
	兵庫県	0.6	-0.5	兵庫県	8	-2	兵庫県	70	8
設置以外	全国	42	8.2	全国	1,753	-2.6	全国	1,648	238
	兵庫県	0.3	-1	兵庫県	57	-5	兵庫県	63	2

回収量(トン)	CFC	回収量	H27との差	HCFC	回収量	H27との差	HFC	回収量	H27との差
廃棄時等	全国	120	-22	全国	2,637	14	全国	952	217
	兵庫県	5.9	3.6	兵庫県	121	14	兵庫県	41	9
整備時	全国	46	22	全国	482	-65	全国	861	89
	兵庫県	0.1	-0.4	兵庫県	20	-10	兵庫県	43	8

充填量は、法改正後2度目の集計ですが、前年度と同程度となっています。

回収量は、例年どおり、HFCの回収量が増加しています。

平成29年度の充填量及び回収量は、平成30年5月15日までに各都道府県へ報告していただくこととなりますので、登録業者のみなさまは、期日までに報告をお願いします。例えばカーエアコンが主で業務用冷凍空調機器の実績がない場合でも、都道府県へ第一種フロン類充填回収業者の登録をしていれば報告の必要があります。

(2) 廃棄時等のフロン類回収率（全国）

平成28年度の業務用冷凍空調機器の廃棄時等のフロン類の回収率は推計39%となりました。平成27年度の約38%をさらに上回り、過去最高を更新しました。フロン排出抑制法の成果が着実に表れてきているものと考えられます。

(3) フロン類の再生量及び破壊量（全国）

フロン排出抑制法では、第一種フロン類再生業者及びフロン類破壊業者からの報告も求められています。平成28年度のフロン類の再生量は1,248トンで、平成27年度（965トン）より約3割の増加となりました（報告は平成27年度から）。

平成28年度のフロン類の破壊量は4,784トンで、平成27年度（4,819トン）と同程度となりました（破壊量は第二種特定製品（カーエアコン）も含む）。

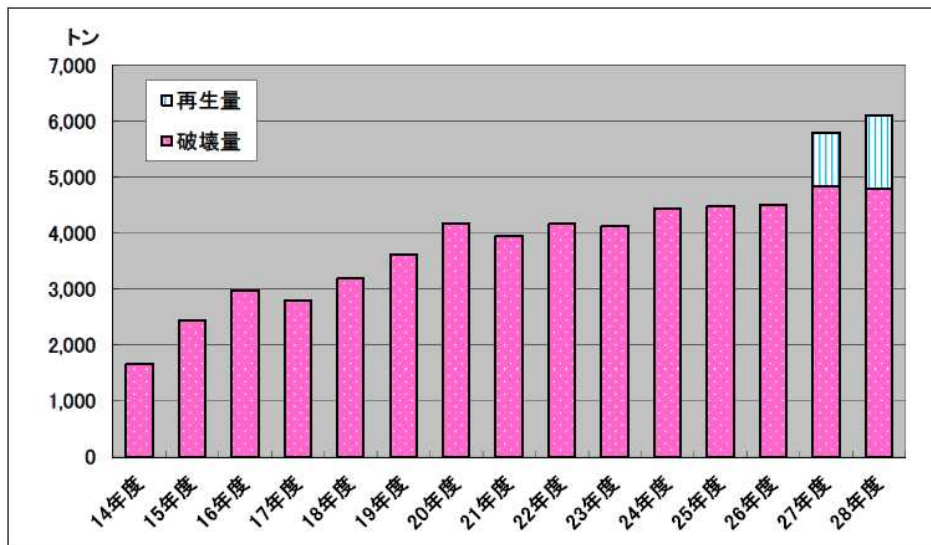


図1 フロン類の再生量及び破壊量の推移

2 オゾン層の状況

(1) 南極のオゾンホール

平成29年の南極のオゾンホールの最大面積は9月11日の1,878万 km²（南極大陸の約1.4倍）で、1989年以降では最も小さな値でした。成層圏の気温が8月中旬以降かなり高くなったことにより、オゾン層破壊を促進させる極域成層圏雲（CFCやHCFCに付いている塩素を活発にします）が例年より発達しなかったことが要因だといわれています。

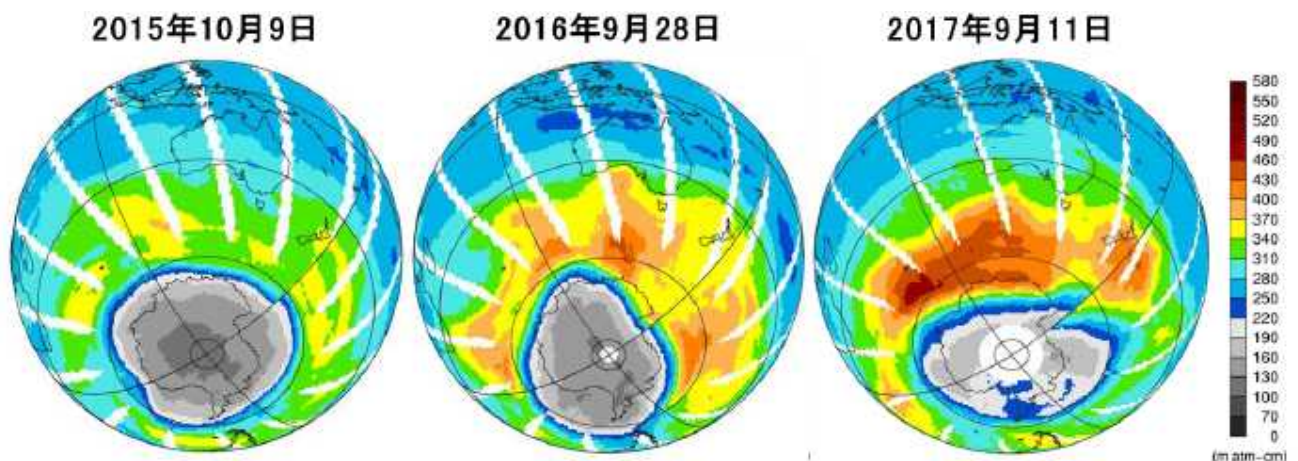


図2 南極オゾンホールの2017年の面積の推移と年最大面積の経年変化

南半球オゾン全量分布図。年最大面積となった日の最近3年分で、南極を取り巻く灰色部分がオゾンホールの領域です。

世界気象機関（WMO）と国連環境計画（UNEP）の報告によると、南極上空のオゾン層が、オゾンホールがほぼ見られなかった1980年の水準に回復するのは、今世紀半ば以降になると予想されています。

(2) 南極のオゾン観測

平成29年度の通常総会特別講演でお話があったオゾンゾンデを使った観測結果を紹介します。

図は、南極昭和基地と那覇の9月に、大気圧のうちオゾンが占める圧力を地上からの高度別に観測したものです。赤線の値が横軸に大きいほどオゾン量が多いことを表します。昭和基地の点線はオゾンホールが明瞭に現れる前の1968年から1980年までの9月の平均値で、当時と比べて現在はオゾンの量が減っていることがわかります。

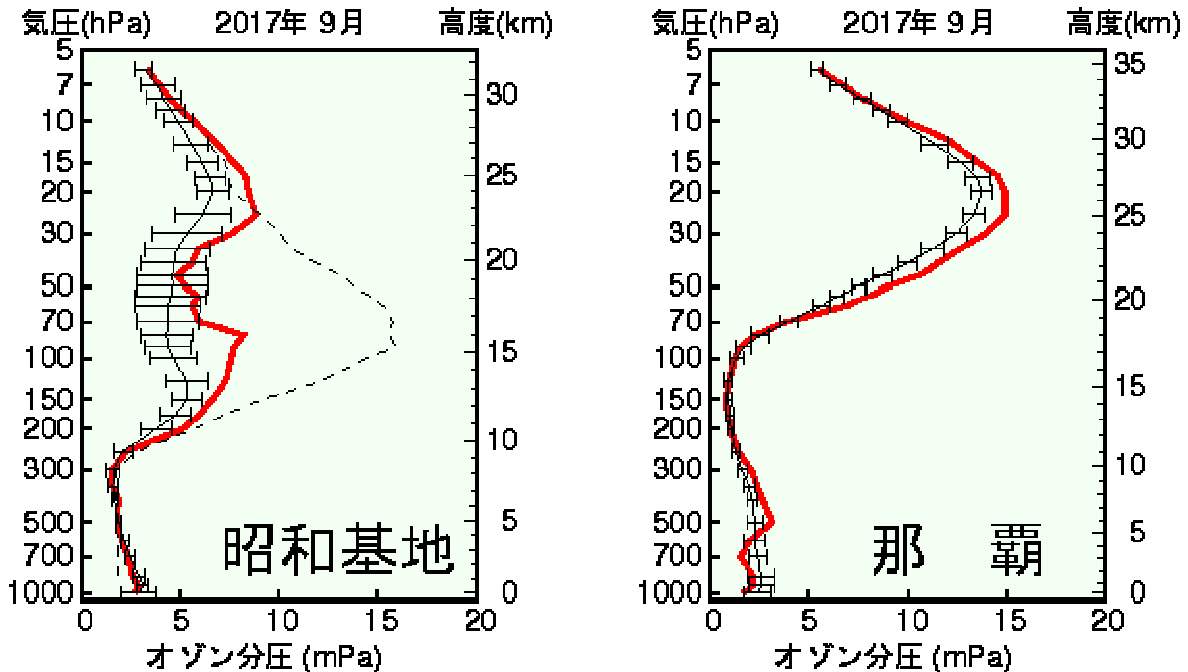


図3 月平均オゾン分圧の高度分布グラフ

3 協議会の活動

○ 技術講習会

平成29年度も会員のみなさまへの支援として、フロン類の適正管理の重要性やフロン排出抑制法等の周知徹底を図るとともに、安全かつ適正なフロン類充填・回収・処理技術の確立と向上のため、技術講習会を開催しました。2日間で49名の会員の方にご参加いただきました。どうもありがとうございました。

- 神戸地域 12月14日(木) 10:30~16:10
三宮国際ビル(神戸市)
- 姫路地域 12月15日(金) 10:30~16:10
姫路商工会議所(姫路市)



この講習会を受講していただくと、兵庫県での第一種フロン類充填回収業者登録の際に「フロン類の性状及びフロン類の回収方法について十分な知見を有する」とされます(ただし、充填方法の知見を有するとは認められません)。

平成30年度も引き続き実施する予定ですので、まだ受講されていない方はぜひご検討ください。

出前講座 受付中！

59号で紹介しました業務用冷凍空調機器の簡易点検方法などが学べる出前講座を平成30年度も引き続き実施する予定です。

ご興味・ご関心がある方は、事務局までご相談ください。

「フロン回収済」シールをつくりました！

冒頭でも紹介したとおり、業務用冷凍空調機器の廃棄時のフロン類回収率は年々向上しているもののおよそ4割となっています。現在、国では、その要因などについて調査が行われているところです。

当協議会では、機器廃棄時のフロン回収を確実に実施していただけるよう、「フロン回収済」シールをつくりました。

〈使い方は〉

- ① 業務用冷凍空調機器の廃棄を決めたら、そのまま放置せず、できるだけ早くフロンを回収してください。放置すると、いつの間にかフロンが放出してしまうことがあります。
- ② フロンを回収したら、シールに該当項目を記入して、機器の目立つところに貼り付けてください。フロン回収は都道府県に登録している業者しかできませんので、業者の情報も記入してください。逆に、シールが貼られていない機器は早めにフロンの回収を手配してください。
- ③ これにて完了！

あなたのおかげで、オゾン層が保護され、地球温暖化が防止されました。ありがとうございます。

〈手に入れるには〉

見本を1枚ずつお送りしますので、同封の申込用紙に必要事項をご記入いただき、事務局までFAXにてお申し込みください。

受付は先着順ですが、お申込みが多数の場合は、調整させていただきますのでご了承ください。



The seal template features a cartoon character holding a tool and two refrigerant bottles. Below the illustration is a table for recording recovery details.

機 器 名		
回収年月日		年 月 日
第一種フロン類充填回収業者	登録番号	
	登録業者名	

兵庫県フロン回収・処理推進協議会

【兵庫県の第一種フロン類充填回収業の登録をお持ちの会員さまへ】

更新手続きはお済みでしょうか？

第一種フロン類充填回収業者登録の有効期限は5年間です。

お忘れにならないようご注意ください、登録通知書に記載の満了日までに登録更新手続きをしてください。更新申請は、登録が満了する日の3ヶ月前から受け付けています。

詳しくは、兵庫県のHPをご覧ください。⇒「兵庫県 フロン対策」で **検索** !!

トライアングル 第60号

～県民・事業者・行政が一体となって～

発行：兵庫県フロン回収・処理推進協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県水大気課内）

TEL. 078-362-3285 / FAX. 078-362-3966

URL. <http://www.hardoc.org>

